

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立仁井田小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考		
			長期的対策内容							
1	四万十町仁井田 信号機 窪川-005	緩やかなカーブで車両用信号が赤でも、自動車が通過する。	道路標示の設置	(国道56号)	国道事務所(国)	○	H24	※交通量が四国横断自動車道へ大幅にシフトしたことから、引き続き状況を注視する。		
			児童への安全確認の徹底				学校		H24	
			交通安全週間中の街頭指導						H24	
			予告信号機設置						警察・公安委員会	H25
			必要に応じて、安全な歩行空間の確保に向けた検討	(国道56号)		R5予定				
2	四万十町仁井田 (旧)ゆういんぐ四万十より 100m須崎寄りの国道沿い約200m区 間	歩道が狭く、特に自転車では行き違いもできない状態である。	平張りコンクリート	(国道56号)	国道事務所(国)	○	H24	※交通量が四国横断自動車道へ大幅にシフトしたことから、引き続き状況を注視する。		
			路肩のカラー化(グリーンラインの整備)				H24			
			児童への安全確認の徹底				学校		H24	
			押ボタン信号機移設						警察・公安委員会	H25
			横断歩道移設						H25	
3	仁井田小学校前の県道 (JRの踏切り付近)	JRの踏切り付近の道幅が狭く、車両が通過する際に児童が避けるスペースがないため危険である。	児童への安全確認の徹底	(県道七里仁井田線)	学校	○	H27			
			道路拡幅による歩道整備の実施	(県道七里仁井田線)			四万十町事務所(県)		○	H30
4	国道56号と県道興津窪川線 交差点付近(浜ノ川付近)	車両が多く通行しており、歩道未整備区間を歩行者が通行する際は接触する恐れがあり危険な状態	路肩のカラー化(グリーンラインの整備)	(国道56号)	国道事務所(国)	○	H28			
			歩道整備の実施	(国道56号)			国道事務所(国)			事業中
85	国道56号線と町道仁井田本通り線の 合流点付近(町道仁井田本通り線)	信号を渡って町中へ入る道に歩道がない。 低学年の児童が車が近づいたときに 田んぼにこけそうになった。	路面標示等の対策検討	(町道仁井田本通り線)	町(建設課)		R2			
			交差点内での対策検討	(国道56号)			国道事務所(国)			R5予定
116	国道56号と県道324号線交差点から 四万十町仁井田1203-1付近(点滅信 号機)付近	交通量が多く、スピードを出す車も比較 的多い国道沿いであるがガードレール が無く、歩道と車道の段差が無い場所 もある。 児童の多くが利用する通学路であるた め、危険である。		国道56号線	国道事務所(国)	○		R4		
			車両用ガードパイプの設置							

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立影野小学校】

地図番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
5	床鍋の豚太郎店から100m程七子峠よりにある床鍋橋	橋の両側とも歩道が整備されておらず、通学上危険箇所となっている。	児童への安全確認の徹底	(国道56号)	学校	○	H24	※交通量が四国横断自動車道へ大幅にシフトしたことから、引き続き状況を注視する。
6	床鍋 豚太郎七子店から西へ300m	自宅側に歩道がないため、国道を横断しなくてはならない。 (H30 小学3年生1人 自転車通学)	“歩行者横断中”等、注意看板の設置の検討	(国道56号)	町(教育委員会)	○	H30	※高速道路開通で通行量が減少したが、引き続き状況を注視する。
			制限速度を50kmから60kmに切り替えることを検討中		警察・公安委員会		R2	
7	ヒロハチシヤの本から奥呉地方面への道	外灯がない、暗い。	外灯については地区から設置を要望する(町に申請)	(町道奥呉地床鍋線)	地区	⊖	H24	※対策の必要がなくなった。
			民地の樹木剪定を区長から要請してもらう。				⊖	
8	影野上地区 双津ノ川橋付近の国道	横断歩道を渡る際、手前のカーブが大きいため、車の発見が遅れる。 歩道が狭い。	児童への安全確認の徹底	(国道56号)	学校	○	H24	※交通量が四国横断自動車道へ大幅にシフトしたことから、引き続き状況を注視する。
			国道用地内にコンクリート舗装で歩道部分拡張。		国道事務所(国)		○	
9	中越製材所付近の三叉路	道幅が狭く、三叉路のため見通しも悪い。 カーブミラーも設置されているが、児童からは、見えにくいいため、危険である。 朝の通学時には交通量も多く、道路ギリギリまで木材が積まれているため見通しが悪く危険である。	児童への安全確認の指導	(県道作屋影野停車場線)	学校	○	H27	
			路面標示による注意喚起		四万十町事務所(県)		○	
73	影野地区 双津の川橋から西へ4軒目の植木	自転車が1台通れるほどの歩道に沿って作られている塀の上から植木がちょうど顔辺りの高さでかぶせるようになってきている。持ち主が剪定をしているようではあるが、歩道にかぶさっているのは危険ではないか。道路反対側に広い歩道もあるが、狭い方を通ることもあったと聞く。	制限速度を50kmから60kmに切り替えることを検討中	国道56号線	警察・公安委員会	○	R2	
			所有者に植木の定期的な剪定の指導を行う		町(教育委員会) 国道事務所(国)		○	
86	双津の川橋から松が瀬付近	歩道の狭い箇所がある。また、広い待避所に停車する車も多く、急発進することも多い。	側溝蓋の清掃予定	国道56号線	国道事務所(国)	○	R3	
			減速路面標示の引き直し		国道事務所(国)		○	
87	下呉地 中越製材所付近から魚ノ川方面	登校の時間帯は交通量も多く、スピードを出している車もある。登校している子どもの横を通り過ぎるときに危ないと思う時がある。	児童への安全確認の指導	町道下呉地線	学校	○	R3	
			グリーンベルトの舗装を両側分検討		町(建設課)		R4	
98	国道56号線替坂本付近	歩道はあるが、柵がなく危険を感じる。	歩道の車道側に防護柵を設置	国道56号線	国道事務所(国)	○	R3	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立七里小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考	
			長期的対策内容						
10	七里小学校から県道19号までの通学路	道幅が狭い、路肩に水路がある。	防護柵の設置	(県道作屋影野停車場線)	四万十町事務所(県)	○	H25		
			路肩(路側帯)の設置・拡幅						
			警戒標識、表示等の設置	(県道窪川船戸線)	○	H24			
			横断歩道標示補修	(県道松原窪川線)	○	H24			
			バイパスの建設	(県道作屋影野停車場線)	○	H30	※七里バイパス開通 (H31年2月) 交通事情が変化。状況に応じて対応。		
			電柱の移設						○
11	七里小学校プールより50m程影野寄り及び小学校正門前から50m作屋寄り	片側1車線の狭くなる区間に、スピードが出たまま走行してくることがある。	児童への安全確認の徹底	(県道作屋影野停車場線)	学校	○		H27	
			道路拡幅による歩道整備の実施	(県道作屋影野停車場線)	四万十町事務所(県)				
12	七里小学校より200～300m作屋寄り	歩道のポールが数か所外れている。	埋め込み式ポールコーンの設置	(県道作屋影野停車場線)	四万十町事務所(県)	○		H27	
13	松葉川保育所 登り口	一部路側帯の歩道がなくなり危険。路側帯に電柱が立っており、車道にはみ出さざるを得ない状態で危険。	児童への安全確認の徹底	(県道作屋影野停車場線)	学校	○	H27	※七里バイパス開通 (H31年2月)交通事情が変化。状況に応じて対応。 町道移管予定(R1以降)	
			電柱の移転を検討						四万十町事務所(県)
			バイパスの建設	(県道作屋影野停車場線)	○	H30			
14	中村分岐から川ノ内方面へ入ったところ	切り立った側面や覆いかぶさる木々で落石や崩落の危険あり	災害等で危険要因ができた場合は至急対応	(町道(勝賀野))	町(建設課)				継続検証
15	七里小学校の500m程度影野より	一部狭い箇所あり、見通しが悪い。加速する箇所であり危険。	橋梁架け替えの実施	(県道作屋影野停車場線)	四万十町事務所(県)	○	H27		灰高橋
16	七里建設付近(護国神社付近)	片側1車線の県道に沿って山手側に歩道がついているが、一部分のみ排水溝の蓋の上で草が茂って狭くなっており、歩行者の横を自転車を通るのは難しい。	草刈り(年二回)や清掃(年一回、冬季)の実施	(県道窪川船戸線)	四万十町事務所(県)	○	R1～継続	※法面等の整備をするには用地買収が必要。	
			歩道上にある水路側溝蓋の補修				○		R2
			土地所有者の状況によるが、歩道の一部を平張・コンクリート化する						

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

17	七里建設付近から樽井商店付近まで	登下校時、スピードが出た車が多く、カーブのため危険。「通学路」を示す道路標識や看板、道路への路面標示等の対策をしてほしい。	児童への注意喚起	(県道窪川船戸線)	学校	○	R3	
			路面表示による注意喚起		四万十町事務所(県)	○	R1	
18	松葉川橋	欄干が低く、橋の幅も半分が狭くなっているため、自転車で通行中に端によってふらつくと、転落する恐れあり。また、橋自体の老朽化により危険箇所が見られる。	H28～H29年度にかけて、橋梁老朽化点検の実施 1(良)～4(悪)のうち、「2」の判定	(県道作屋影野停車場線)	四万十町事務所(県)		継続検証	※次期5年後の定期点検まで経過観察。(H29～)
74	バイパスと県道窪川船戸線との交差点及び県道作屋影野停車場線との交差点	バイパスを通る車はスピードが出ている。自転車通学児童(窪川方面・米奥方面ともに)は、横断歩道で一旦自転車を降り、押して渡っている。横断歩道で止まって待っている際に自転車同士の衝突事故が発生した場合、巻き込まれることが大いに考えられる。歩道に車の侵入を防ぐ金属製のポールまたは柵状のガードパイプ等の設置をお願いしたい。	児童への安全確保の指導	県道窪川船戸線 県道作屋影野停車場線	学校	○	R3	
			七里バイパスが開通(H31年2月)し、交通事情が変化したが、状況を注視しながら対策を検討		四万十町事務所(県)		継続検証	
117	勝賀野から川ノ内方面	児童の通学路であるが、路側帯の白線が消えており、道路の端が分かりづらく危険である。路側帯がない上に、両側に雑草が生えており、児童が登下校時に下へ落ちてしまう危険性がある。危険なので、児童のみで登下校させられない。	夏秋の草刈り	町道勝賀野川ノ内線	町(建設課)	○	R4	
			白線の塗りなおし			○	R4	
118	学校の手前300メートル付近(小野川方面)	小学校前県道が両サイドともに道路の幅が狭くなっているが、スピードを出して走る車があり、児童の登下校通学時間帯は大変危険である。また、フェンスが途中で終わっており、用水路に落ちてしまう危険箇所がある。(道路の幅が狭くなる手前には、「スピード落とせ」の看板は設置してあるがあまり効果が見られない。)フェンスが切れているところは早急にフェンスを伸ばしてほしい。	道路両端の防護柵の設置	県道作屋影野停車場線	四万十町事務所(県)			
								R4

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立米奥小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
19	米奥450番地から766番地まで	歩道がない、道幅が狭い。	児童への安全確認の徹底	(県道松原窪川線)	学校	○	H24	
			歩道の設置・拡幅		四万十町事務所(県)		R3～	
20	米奥の四万十源流大橋から 県道19号線窪川船戸線の下壺斗俵 地区 まで、及び北ノ川橋までの区間	歩道もなく狭いので、自転車通学をして いる児童には危険。(自動車と接触し そう)	歩道の設置・拡幅	(県道窪川船戸線)	四万十町事務所(県)	○	H25	
			路側帯のカラー舗装化			○	H25	
			側溝蓋の設置			○	H25	
			歩道の設置・拡幅	(県道窪川船戸線)	○	事業中		
21	米奥小と児童宅 (窪川中津川間)	道幅が狭くガードレールがない所があ る。 街灯をつけてほしい。 人が歩いて通ることがほとんどなく、バ スや スピードの速い車が通るので危な い。 通学路の看板をつけてほしい。 路面標識を表示してほしい。	ガードレール未整備箇所の状況確認	(県道松原窪川線)	四万十町事務所(県)		継続検証	※ガードレールは要望中。 (H30年度)
			防犯灯の設置(危機管理課と検討)		教育委員会(町)		未定	
			道路標識の設置の検討				未定	
75	壺斗俵52番地から栗の木大橋の上 流200mまで	自転車通学の児童がおり、この区間に 歩道がない。	下流の道幅拡張工事を計画中(数年 先を予定)	(県道窪川船戸線)	四万十町事務所(県)		R4～	
			栗ノ木大橋の前後380mを改修			○	R3	
88	バス停米奥農協前～バス停下中津川	以前要望して、看板を取り付けても らったが、バスや乗用車などが通り、自 転車通学の児童が危ないので、道路の 拡張は、難しいと思うがお願いしたい。	児童への安全確認の指導 バス会社に歩行者対面時の停車・注 意を依頼	(県道松原窪川線)	学校	○	R3	
			側溝を徐々にプレキャスト側溝に置き 換えていく		四万十町事務所(県)		R3	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

99	北ノ川口の宮崎商店前	横断歩道がなく、道路幅も広いため、車がスピードを上げて通り過ぎ、児童が道路を横断して登校するのに危険を感じることもある。道路を横断して通学してくる児童が何人もおり、危ないので横断歩道を付けてほしい。	児童への注意喚起	(県道松原窪川線)	学校	○	R3	
			減速の路面標示を設置		四万十町事務所(県)	○	R3	
119	学校前「入る谷第2橋」北川付近	歩道に草と苔が生えており、雨天時などには滑りやすくなる。1年生も通学路と利用しており、危険。 梅雨の時期に入ることもあり、早急に対応をお願いしたい。	除草または舗装の打ち替えを予定	町道新米奥一斗俵線	町(建設課)		R5	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立窪川小学校】

地図番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
22	金上野 クボタ営業所前交差点付近	金上野団地から国道に出る所の歩道に、信号がなく渡るのが怖い。押しボタン式でよいので信号がほしい。(地区会でも意見が出たそう。) 金上野団地を出て国道56号線に入ると、そこから消防署の信号まではガードレールも無く、かなりのスピードで車が走ってくるので、歩道を歩いてもとても不安。自転車通学している子どもたちもかなり危ない。 車道と歩道の間にはガードレールの設置等を検討してほしい。	路側帯のカラー舗装化	(国道56号)	国道事務所(国)	○	H24	
			路側帯のグリーンラインの引き直し			○	R3	
			県舎宅周囲のフェンス一部撤去		四万十町事務所(県)	○	H27	
			横断歩道の引き直し(信号は法定上設置が難しく、地区長にも事情を説明済)			○	R2	
			横断旗を設置		教育委員会	○	R3	
			横断歩道の引き直しカラー化による視認性向上			○	R2.1月	
状況を注視し、必要に応じて対策を検討			継続検証					
23	金上野 町営グラウンド出口より町側の横断歩道	横断歩道が追い越し車線の近く、カーブで見通しが悪い、交通量が多い、車のスピードが速い。	道路標示(横断者注意・減速マーク)	(国道56号)	国道事務所(国)	○	H24	
			道路標識等、注意喚起等対策実施箇所を注視していきたい				未定	
24	金上野 ローソン金上野店前	コンビニエンスストア付近は交通量もあり、緩やかなカーブでスピードが出ている車も多く危ない。		(国道56号)	警察・公安委員会			片坂バイパス開通(H30.11月)※高速道路延伸により交通量が変化しており、状況を注視しながら対策を検討。
			減速表示速度標識(40km)の設置			○	H30	
25	古市町 ホームセンターマルニから 水車亭付近	金上野の県営住宅からの通学時には、左側の歩道を通っているが、ホームセンター前から左へ入る水車亭へ行く道が危険。 横断歩道もなく車もスピードを出している。 古市町「のぎく」前が危ない。	古市町 生田組前の交差点の改良のため、地権者と協議・交渉	(国道56号)	国道事務所(国)	○	R4年度完	※R5.1末 交差点改良済み
			国道交差点改良後、状況を見ながら対策を検討	(町道窪川若井線)	町(建設課)		H30～ 継続検証	
26	古市町 生田組前の交差点	左折時の大型車両の内輪差が危険道幅が狭い、交通量が多い。	信号待ち歩行者の巻き込み防止策として外側線を整備	(国道56号)	国道事務所(国)	○	H24	※交差点改良後も、道路事情の変化を見ながら対策を検討
			生田組前交差点の改良			○	R4年度完	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

27	新開町 橋本石油前交差点 神ノ西～新開町	見通しが悪い、交差点が鋭角、横断歩道がない、交通量が多い。 神ノ西の道路は、通勤の抜け道になっているようで、集落外の車がよく通り、しかも早いスピードで非常に危ない。 この4つ角は「一時停止」の標識がなく、車がスピードを出して朝夕通行する。道路表示をしてほしい。 自転車店付近の横断歩道も信号がないので危険。	歩道部分の段差解消、側溝蓋の改良を検討(新開町)	(国道381号)	四万十町事務所(県)		H28	※橋本石油前交差点 H29.6.29(木)、警察・学校・教委で現地確認・協議し、この時点での緊急性は感じられず、横断歩道の線は引かないことで確認したが、今後危険性が確認されれば再検討。		
			左折場所へのポールコーンの設置(新開町)				R2			
			停止線の引き直し(橋本石油前交差点)	(町道山手線)	町(建設課)	○	R1			
			徐行の表示(神ノ西のY字路)			○	R1			
28	大井野 吉良自動車前～ 宮内五社への分岐までの国道	歩道が極端に狭い、交通量が多い、車のスピードが速い。	路側帯のカラー舗装化	(国道381号)	四万十町事務所(県)		○	H25	※歩道整備中	
			歩道整備							
29	東川角 旧丸山小学校付近 (山崎俊隆氏宅前)カーブ	道幅が狭い、カーブの見通しが悪い。	見通しの悪い箇所にカーブミラーの設置	(県道松原窪川線)	四万十町事務所(県)		○	H27		
			道路拡幅、交差点の改良の実施				四万十町事務所(県) 町(建設課)			未定
30	琴平町 ぶんぐはうすりユービ前交差点	文具店及び理髪店前の交差点。信号待ちのスペースが狭い。 窪川高校側からの車が、かなり切り込んで右折してくるので危ない。 窪川駅方面に右折待ちの車がいると、文具店側の歩道を直進する車がいる。 主に低学年の児童は、歩道と車道の際で信号待ちしていることが多く、停止を促すため、車道から歩道側へ数メートル行った箇所に、停止線や足跡の表記をしてもらいたい。	カラーポールの設置 ※左折車の妨げになっている可能性あり	(町道山手線)	町(建設課)		○	継続検証		
			停止線等の表示の検討							R1～
			交通指導の実施(窪川小に)				町(教育委員会)	○		R1
			パトロールの強化				警察・公安委員会	○		R3
			交差点改良の検討				町(建設課)			継続
31	北琴平町 古味酒販付近 琴平町 琴平町神社付近	北琴平町、たばこ屋の所の信号は、時間帯により点滅信号になるため、信号無視の車がとて多く危険。 琴平町神社下の細道が見通しが悪い。	パトロールの実施	(町道吉見町本通り線)	警察・公安委員会		○	R1	⇒事業中	
			児童や保護者に注意喚起				学校	○		R1
			喫茶ヴィオロン周辺道路側溝の改修(琴平町神社付近)							H30～
			停止線の引き直し(古味酒販店付近)				町(建設課)	○		R1
			舗装の塗り替え(古味酒販店付近)					○		R1

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

32	琴平町 (旧)味覚前の交差点 本町 吉見川付近	道幅が狭い、交差点の見通しが悪い。 吉見川に架かっている橋を渡る時、どちら側を歩いたらいいのか分からない。 岩本時側の方から学校に向かって行くとき、本町を横切ろうとすると、四国銀行側から来る車が見えにくい。 学校側から出て吉見橋に曲がる交差点が狭いため危ない。	児童横断中の看板及び反射鏡の設置	(町道吉見町本通り線)	町(建設課)	○	H24	
			道路(側溝蓋及び消火栓)の段差解消				H28	
			停止線の補修			○	R2	
			パトロールの強化			○	R3	
			PTAによる一方通行化の啓発			○	H28	
33	香月が丘 窪川中学校から根々崎方面のカーブ	五社の大橋から香月が丘に上がる坂道がカーブしているうえに歩道が確保されていないため、児童が徒歩や自転車で通行する時に危険である。	防犯灯の設置	(町道宮ノ越線)	教育委員会(町) 危機管理課(町)	○	H30	※四国電力の助成事業で防犯灯設置(H30年12月)
			歩道拡幅(張り出し歩道の設置)			○	R3~	
76	学園通り 中越理容店前四差路	カーブミラーはあるが、高校側から入ってくる車が内側より入ってくる。 また、団地から本道へ自転車で出る際に、子どもが(自転車が)止まらずに左折することがある。	パトロールの実施	町道山手線	警察・公安委員会	○	R1	
			児童や保護者に注意喚起			○	R1	
			交差点西側の停止線の引き直し				R1	
77	本町通り(四国銀行前)旧商店街 チャレンジショップ前の横断歩道	朝夕問わず、見通しのいい直線道路のためか、結構なスピードで通る車が多い。遊んでいる子どもたちが道路へ飛び出したりすることがある。 歩道が整備されているところとないところがあり、白線も消えているところがあるので、子どもも歩きづらい。 ほとんどの車が一時停止せずに横断歩道を通るため危険。	交差点中央に十字マークの表示の検討	町道本町通り線	町(建設課)		R1	
78	学校門からNTTビルのある交差点までの道	東吉見橋及び橋の取付町道の幅員が狭小であり、車と歩行者が接触する危険がある。	歩道橋の設置	町道萩原線	町(建設課)		R3~	
			東吉見橋の拡幅工事の事業化				R2以降	
89	金上野 窪川運動場前横断歩道から東に100mほどの歩道	歩道の幅が1mもなく、危険。ダンプカー等の交通量も多く、横を通過した際の風圧で自転車が横転しそうになる。 (※側溝の蓋がかかっている部分を含むと歩道の幅員は1.5m以上確保されている)	側溝蓋の清掃	国道56号線	国道事務所(国)	○	R3	
90	大井野 吉良自動車から大正方面へ約200m	歩道がなく危ない。自転車通学をしているので、いつも車道側に転ばないか心配している。	山手側に歩道を設置していく	国道381号線	四万十町事務所(県)		R2	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

100	仕出原から払川奥へ入る道(150m程入った所)のカーブ	下に用水路が流れていて少し高さもあるので、児童に限らず、人や車の転落が怖い。簡易なポール等を立てていただいているが、毎年畑を焼くときに熱で折れ曲がってしまう。夜は特に暗いので気になります。	転落防止柵を検討	町道払川線	町(建設課)	○	R4
101	古市町の岩崎自動車	岩崎自動車の下の駐車場から上がってくる車が分かりづらい。(ブロック・壁があるので)	交通指導による注意喚起	国道381号線	学校	○	R4
102	Mac前交差点	信号がなく、かなりスピードを出して、西原方面から来る車が多く、交差点ギリギリまで立って見ないと見にくい場所(堤防ブロックが視界を妨げている)	一時停止取り締まりを強化	国道381号線	警察・公安委員会	○	R3
			歩行者用の停止表示を設置		四万十町事務所(県)	○	R3
103	高橋金物店から窪川ハイヤーへ渡る交差点	信号がなく、スピードを出して出てくる車がある。	一時停止取り締まりを強化	国道381号線 町道櫻町線	警察・公安委員会	○	R3
104	旧道の水車亭から旧役場までの道	信号がなく道が狭い。7:40~8:20頃までは交通量が多く、専用歩道もない。特にカーブ(大きさ関係なく)が見ているだけでも怖い。交通量が多く法定速度を守っている車はほぼないうえに、歩行者がいても減速をしない	張り出し歩道の設置(中間部分のみ) グリーンベルト追加	町道窪川若井線	町(建設課)		R4
105	古市町110-2地先~古市町11-4地先	道路幅員が狭く、朝夕の通学時間帯には校区内の住宅街から県道381号線へ出る車が渋滞を避ける近道として通行し、交通量が非常に多い。小学生等が狭い路肩を通過して登校しており、直近を車両が通過するなど、危険な状況が認められる。	張り出し歩道の設置	町道窪川若井線	町(建設課)		R4
120	旧市川文光堂	2階部分の支柱がずれていて怖い。(通学路ではないが、近所の子どもたちもよく通っており、危険を感じる)	児童への注意指導	町道吉見町本通り線	学校	○	R4
			所有者との協議を続行		町(建設課)	○	R4
121	しまんと町社会福祉協議会前	社協の信号機は点滅で、歩行者が青になっても、たまに気がつかず通過する車がいる。通学用バスでも見かけた。たまに朝日、夕日で見えづらいとの声も聞く。朝夕のパトロールをお願いしたい。夕方のパトロールは通過していくのが速いので、あまり意味がないように思う。交差点ごとに(日ごと)立っての監視をしていただくとありがたい。		国道381号線			
			パトロールの継続		警察・公安委員会	○	R4

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

122	みどり市からほか弁に抜ける道路	道路が狭く、交通量も多くて危ない。大型トラックや車がすれ違う時など危ないことが多い。(スピードを出している車が多い)カーブの所では事故が多いので危険だと思う。	児童への注意指導	町道昭和町榊山線	学校	○	R4	
			グリーンライン追加済み		町(建設課)	○	H30	
123	本町商店街通り	道路に路上駐車している車が何台もあり危ない。チャレンジショップの交差点の横断歩道。歩行者が歩いていても止まらない車が多い。スピードもかなり出ている車も多い。		町道本町線				
			路上駐車見回りの強化 朝の取り締まりの継続		警察・公安委員会	○	R4	
124	窪川自動車前の歩道・ホリカワの前の歩道	・窪川自動車前の歩道:坂になっているうえに狭い。車道との段差もあり、帰宅中の児童が自転車で転倒することがあり、大変危険。 ・ホリカワの前の歩道:よく車が止まっていて、歩行者が通りづらい。わき道から出てくるとき、車から歩道が見えないので、歩行者がいるのも見えにくいと思われる。	路上駐車への指導。警告	国道381号線	警察・公安委員会	○	R4	
			歩道改良(拡幅)の検討		四万十町事務所(県)	○	R4	
125	ケーブルテレビ前の道	歩道もなく児童が歩く際に危険。		町道公園通り線				
			グリーンベルト設置の検討 側溝蓋の設置を検討		町(建設課)	○	R4	
126	丸正水産近辺	大型トラックがバックしたり車庫入れなどで視界が悪くなり心配。	所有者への通学時間帯の注意相談	国道381号線	警察・公安委員会	○	R4	
			反対側歩道利用の指導		学校	○	R4	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立川口小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
34	川口小学校(南川口108)正門周辺	水路に柵がない。	車道分離標(ラバーポール)の設置	(県道小味野々川口線)	四万十町事務所(県)	○	H24	※町道移管予定(R3以降)
			児童への交通安全指導		学校	○	H24	
			柵の設置		教育委員会(町)	○	H24	
35	川口小学校(南川口108)正門周辺	交通量が多い、車のスピードが速い。	路側帯のカラー舗装化	(県道小味野々川口線)	四万十町事務所(県)	○	H25	※町道移管予定(R3以降)
			路肩(路側帯)の設置・拡幅			○	H25	
			警戒標識、表示等の設置			○	H25	
36	南川口 立西町民会館と 川口小学校から正門まで	見通しが悪い、飛び出しの危険。	児童への交通安全指導	(町道川口住宅線)	学校	○	H24	
			道路反射鏡の設置		四万十町	○	H24	
37	南川口 川口小学校南方の嶋村商店前	商店前の横断歩道を渡り切った所が 用水路になっていて、ガードレールがなく 転落の危険あり。	ラバーポールの設置	(県道小味野々川口線)	町(建設課)	○	H30	※南川口バイパス開通 (H29.8月)道路事情が変化 したが、状況を注視しながら 必要に応じて対策を検討。
38	川口保育所(南川口181-1) から檜生原にかけて	道路に木がかかっている、土砂崩れ の心配、道幅がせまい、ガードレールが ない。	車道分離標(ラバーポール)の設置 土砂崩れについては、現地調査を行 い危険箇所があれば対策工事を行 う。	(県道小味野々川口線)	四万十町事務所(県)	○	H24 未定	
39	天ノ川へ渡る橋のたもと	歩道が国道北側の山手にあるが、横 断歩道がなく、南側の橋から渡る時に交 通量が多く危険。	天ノ川大橋向かいの法面にコケを 削った啓発文字の表示	(国道381号)	警察・公安委員会	○	H30	⇒表示には一定の条件が 必要(利用頻度等)
			横断歩道の設置基準に該当せず、横 断歩道の設置はしない		警察・公安委員会		R3	
			路面標示による注意喚起		四万十町事務所(県)		R2	
40	秋丸(国道沿い)	歩道がない、交通量が多い。	路側帯のカラー舗装化	(国道381号)	四万十町事務所(県)	○	H25	
			歩道の設置・拡幅					

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

41	野地 野地分岐点より東600m付近	この地点から道路南側に歩道、窪川方面は、国道北側にグリーンベルトの表示があるが、渡るための横断歩道がない。		(国道381号)	警察・公安委員会		R3	⇒表示には一定の条件が必要(利用頻度等)
			横断歩道の設置基準に該当せず、横断歩道の設置はしない					
42	野地 野地分岐点 野地橋前	歩道が国道南側にあるが、横断歩道がなく、北側の民家から渡る時に交通量が多く危険。 民家側から見ると、右は緩やかなカーブ、左は直線でスピードが出ている。		(国道381号)	警察・公安委員会		R3	⇒表示には一定の条件が必要(利用頻度等)
			横断歩道の設置基準に該当せず、横断歩道の設置はしない					
127	川口小学校校門前	横断歩道の白線が消えつつある	横断歩道の引き直し補修	町道南川口線	警察・公安委員会		R5	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立東又小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考	
			長期的対策内容						
43	四万十町黒石336(西森商店前)四差路	道幅が狭い交差点、保育所への送り迎えの車が右左折する。	路肩(路側帯)の設置・拡幅	(県道上ノ加江窪川線)	四万十町事務所(県)	○	H25	⇒黒石バイパス開通 (R元年7月)	
			警戒標識、表示等の設置				(町道与津地坂塩線)		警察・公安委員会
			一時停止規制新設	(県道上ノ加江窪川線)	四万十町事務所(県)	○			
			バイパス計画の実施						
44	四万十町黒石363(串田美容室前・小学校正門入り口)三差路	道幅が狭い	路肩(路側帯)の設置・拡幅	(県道上ノ加江窪川線)	四万十町事務所(県)	○	H25	⇒黒石バイパス開通 (R元年7月)	
			横断歩道標示補修				警察・公安委員会		H24
			バイパス計画の実施						四万十町事務所(県)
45	四万十町数神794-6田村米穀店から723-1串田自動車の間 (県道興津窪川線の土居地区で、途中極端に道幅が狭く見通しの悪いカーブが2箇所続いている場所)	路側帯もない、極端に道幅が狭くなり見通しの悪い箇所が2箇所ある。夏には草だけが高くなり、一段と見通しが悪くなり、車から自転車に乗っている児童が見えなかったり、児童側からも急に車が見えて慌てる場面がある。この箇所以外は道が広いので、ダンプも良く通行している現状があるにも関わらず、「通学路」や「児童に注意」等示す看板もなく、この道を利用している2名の児童は、日々危険を感じながら通学している。	草刈りの実施	(県道興津窪川線)	四万十町事務所(県)	○	R1～R3		
			通学路を示す標識を設置				○		R3
			歩道の設置・拡幅						未定
46	四万十町数神—遠山交差点	交差点に横断歩道がない	横断歩道新設	(県道興津窪川線)	警察・公安委員会	○	H25		
47	四万十町 向川集落入口の三叉路	県道と歩道の間に縁石があり、県道を斜めに横断するため危険。	歩道縁石の切下げの実施。	(県道興津窪川線)	四万十町事務所(県)	○	H27		
48	四万十町黒石 学校西四差路	変則四差路で見通しは悪くないが、児童の多くが通る。 保育所への進入路(南北)でもあり、注意が必要である。 側溝や水田との境目がはっきりせず暗いと危ない。	道路標識等の設置の検討	(町道与津地坂塩線) (農道)	町(建設課)		H28～ 継続検証		
49	四万十町黒石 学校西～農大前道路	県道は交通量が多く道が狭い。この道为了避免のため、多くの児童が農道を通っているが、水路のふたの周囲の隙間や、途中にくぼみや穴があったり、水路部分が周囲と比べて削れている所もあるが分かりにくく、今までに何人も自転車登校する児童がタイヤを取られて転んでいる。(特に低学年)	道路維持班によるくぼみ等の定期補修を実施	(町道上ノ加江窪川線) (農道)	町(建設課)	○	H28		
			該当区間は自転車を降りて通行するように指導				()		学校

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

79	黒石 県道上ノ加江窪川線 黒石バイパスの学校付近 (旧営農支援センター付近)	開通した黒石バイパスは、学校前付近から終点付近まで500mほど直線が続いているため、車がスピードを出して通行している。 登下校でバイパスを横断する児童が数名おり、大変危険である。近くに小学校があることを認識してもらい、自動車の運転手が徐行運転の意識を持ってくれるよう、看板を設置してもらいたい。	路上にストップマークの表示	上ノ加江窪川線黒石バイパス	警察・公安委員会	○	R1
			減速マーク、路面標示による注意喚起		四万十町事務所(県)	○	R1
80	黒石 県道上ノ加江窪川線 黒石バイパスの営農支援センター 西側の横断歩道からの南北の町道	開通した黒石バイパスは道幅も広くなったが、そこを横断するように南北に通じている町道が狭く危険。 小学校へ通学する児童がこの道を利用しているが、道が狭すぎて民家に隠れている。バイパスを高速で通行している自動車も多く、町道がもっと広く分かりやすくないと危険。	路上にストップマークの表示	上ノ加江窪川線黒石バイパス	警察・公安委員会	○	R1
			減速マーク、路面標示による注意喚起		四万十町事務所(県)	○	R1
81	黒石 県道上ノ加江窪川線 黒石バイパスの営農支援センター 西側の横断歩道	バイパスは歩行者の通行を考慮していないためか、路側帯が極端に狭いつくりとなっている。バイパスの横断が通学路の一部になっている児童がいるが、路側帯が狭いため、自転車を止めて左右を確認するスペースがなかったり、横断歩道を渡り終えるといきなり段差のある田畑になったりしている。 横断歩道を途中でカーブしながら渡らなければならない状況は大変危険。 横断歩道のある所の路側帯の幅だけでも早急に拡大してほしい。	南側に転落防止柵を設置	上ノ加江窪川線黒石バイパス	四万十町事務所(県)	○	R3
			南側の路側帯拡張を検討			○	R4~
			路側にスペースを確保または横断歩道を斜めに引き直しすることで対応できないか、再検討			○	R2
91	藤ノ川バス停前の横断歩道	藤ノ川バス停前の横断歩道は児童の通学路を示す標識はあるものの、民家の塀で見通しが悪い上に、横断歩道設置の道路標識や車の停止線、横断歩道自体の白線もほとんど消えている。また、この横断歩道をはさむ東西に延びる県道は、直線が続いており、車のスピードも出やすい状況にあり、横断時の危険度が高い。	横断歩道のカラー化を検討	県道上ノ加江窪川線 町道向川八千数線	警察・公安委員会	○	R1
			路面表示の補修			○	R3
			路面標示(外側・中心)の補修・横断歩道ありの区画線表示を実施		四万十町事務所(県)	○	R2
106	黒石 学校から西に抜けている自転車の通学路	自転車通学の児童が通学路として使用しているが、たまに車も通るため、下校時の左側通行をしているときに、車をよけた際に水路に落ちることも考えられる。水路までの高さがかかなりあり危険である。	転落防止柵を設置	町道黒石大樋線	町(建設課)	○	R3

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

107	黒石 学校から土居・平野に抜ける道	道路淵の廃墟となった縫製工場の建物跡は、住宅が近くにはあるがツタに覆われ鬱蒼としている。トタンの劣化が激しく大風の後にはトタンが飛んできていたりして危険である。	個人の土地のため、町道管理者からの要望として撤去を相談	町道黒石土居線	町(建設課)	○	R3	
128	県道325号線手前の道で串田美容 室前の交差点	見通しが悪く、カーブミラーは設置されているが、見えにくい。東又小学校の校門から児童が自転車で出てきたり、職員が自動車に出て来たりする場合も道路から来る自動車が見えにくく、東又駐在所からも注意喚起の指導を受けている。カーブミラーの設置の増設、または見直し等	カーブミラーの位置調整	町道黒石中央線	町(建設課)	○	R4	
129	奈路橋	歩道がなく、橋が盛り上がっていて、見通しが悪い。低学年が自転車に乗って橋を渡る時は向こう側からは見えづらい。また、橋と橋の付近は歩道がないため児童の通学には危険である。	歩道整備に向けて検討	県道志和仁井田線	四万十町事務所(県)	○	R4	
130	県道326号線から国元建設の前を通り、西森商店まで行く道の一部 (ガードレール・柵がない部分)	道と田んぼ等の高低差が大きいのに、ガードレールや柵がないため、児童が通学するのに危険な状態である。	児童への注意指導	町道黒石土居線	学校	○	R4	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立興津小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
50	興津小学校(興津1572)より 興津376までの区間	道幅が狭い。	路肩(路側帯)の設置・拡幅	(県道興津窪川線)	四万十町事務所(県)	○	H24	※以前は30km規制をしていたが、現在は解除されている。
			路肩(路側帯)の設置・拡幅	(町道興津中央線)	町(建設課)	○	H24	
			児童への交通安全指導	(県道興津窪川線)	学校	○	H24	
51	興津小学校より西へ→樋口商店(興 津1384)→JA興津支所前(バス停)の 区間 興津小より西へ4号避難タワー前の4 差路	道幅が狭いため、車両等と接触する 危険がある。(特に登校時) 停止線がないため、飛び出してきた車 両と接触事故の危険性がある。(常時)	路側帯の設置・拡幅	(県道興津中央線)	町(建設課)	○	H24	
			速度抑制を促す注意喚起看板の設置 を検討			○	H29～	
			状況を注視しながら、必要に応じて対 応				H30～	
82	興津浦分地区 佐藤商店200m灯台口に抜ける道 の四差路	停止線がないため、飛び出してきた車 両と接触事故の危険性がある。	児童や保護者に注意喚起	町道一本松浦分線 町道浦分1号線・3号線	学校	○	R1	
			舗装の補修、路面に止まれ表示等の 検討		町(建設課)		R1	
131	興津小学校(興津1572)より西へ海 水浴場と市街地への3差路	停止線がないため、飛び出してきた車 両と接触事故の危険性がある。車がス ピードを出すことと、一時停止して確認 しない。(一時停止の標識があればいい と思う。)	一時停止について地域と協議中	県道興津窪川線 町道興津中央線	警察・公安委員会	○	R4	
			区画線設置		四万十町事務所(県)	○	R3	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立窪川中学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
52	大井野 バス停付近～ 大向 (株)あさの付近 口神ノ川～大井野区間	交通量が多い。この区間は歩道がない所もあり、自転車通学には危ない。 大旺新洋(窪川営業所)辺りで、歩道が急になくなる所があり危険。	路側帯のカラー舗装化	(国道381号)	四万十町事務所(県)	○	H25	⇒大井野～口神ノ川事業中 ※街側より順次用地買収の
			歩道整備				事業中	
53	窪川中学校～仕出原 (五社大橋手前)	カーブがあり、見通しが悪い。		(町道宮ノ越線)	町(建設課)		H30～	※H29設計 H30～歩道拡幅
			町有地に隣接する箇所の歩道整備。 歩道整備			H30～		
54	四万十町 市生原	歩道が整備されていない箇所があり、 車道の幅員も狭い箇所があり、大変危険。	道路拡幅による歩道整備の実施	(県道窪川船戸線)	四万十町事務所(県)	○	事業中	
55	四万十町 西川角	歩道が整備されていない箇所がある。 車道の幅員も狭い箇所があり大変危険。	現地調査を行う	(県道松原窪川線)	四万十町事務所(県)	○	H30	
			道路拡幅、交差点の改良の実施				未定	
56	役場 西庁舎前 (JR窪川駅前)	歩道が片側しかなく、自転車通学の生徒は歩道のない車道を通っており、走行する車両に非常に接近して大変危険。	末広食堂等の複数の店舗が建つ側の歩道を整備する計画あり	(県道窪川船戸線)	四万十町事務所(県)		継続検証	※駅前再開発計画〔所管：町(にぎわい創出課)〕が見えてきたら具体的に検討。
108	香月が丘 緑林公園から窪川浄水場への道	交通量もあるが、カーブで死角になっており車が来ていることがわからず、自転車通学や徒歩通学には危険	ミラー、街灯ともに機能しており対策済	(町道神の西線)	町(建設課)	○	R3	
			草刈りが必要になった場合は町建設課まで				継続	
109	大井野方面への道	交通量が多い。分離帯がないところがあり、自転車通学には危険	施工可能となった区間から歩道整備工事	(国道381号線)	四万十町事務所(県)	○	R3	
132	四万十町香月が丘(給食センター前～根々崎の町道)	交通量もあるが、歩道が狭くカーブで死角になっている上に崖が切り立っており、自転車通学や徒歩通学には危険		町道宮ノ越線	町(建設課)	○	事業中	
			道路改良事業による歩道拡幅を計画済					

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立田野々小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考	
			長期的対策内容						
57	四万十町大正 田野々大橋周辺	交通量が多い、車のスピードが速い、 見通しが悪い。	警戒標識、表示等の設置	(国道381号)	四万十町事務所(県)	○	H24		
			植栽の剪定				○		H24
			交差点改良				○		H24
			信号機新設				○		H26
			横断歩道予告標示補修				○		H24
58	四万十町大正512 (旧)通所介護という周辺	道幅が狭い、見通しが悪い、カーブミ ラーがない。	道路反射鏡の設置	(町道田野々中央線)	町(大正振興局)	○	H24		
			保護者に一方通行化、危険箇所の周 知				○		H24
			地域への注意喚起				○		H30
			生徒会活動等にカーブミラーの清掃				○		H30
83	上岡 上岡677-25番地先 (国道381号沿い、四万十川の対岸、 向山沈下橋を渡った橋)	自宅前の橋を通過して通学利用している が、安全性に問題があると判定されて おり危険である。(中3:1人 小3:1 人)	グリーンライン等の整備予定	町道向山線 (コヤノ谷1号橋)	町(大正振興局)		R4～	事業実施中 R1:測量・設計 R2以降:工 事	
			橋の架け換え						R1～
133	四万十町大正 国道381号線(熊野神 社前～田野々大橋)	国道381号線の熊野神社前(下図①)か ら田野々大橋(下図②)までの速度規制 がないため、走行車両の速度が速く、歩 道であっても児童・一般の歩行者が通る ときに危険を感じる。ぜひとも速度制限 を設けていただきたい。	速度規制の見直し予定	国道381号線	警察・公安委員会	○	R4～		

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立大正中学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
59	大正 学校から西側 JR予土線 線路下トンネル	路線下のトンネルは、道路幅が狭く見 通しも悪いため、生徒と車が接触する危 険が大きい。	道路反射鏡の設置	(町道田野々中央線)	町(大正振興局)	○	H24	※過去に田野々小からも 一部出ていた区間
			保護者に危険箇所の周知		学校	○	H24	
			地域に注意喚起を促す			○	H30	
			生徒会活動等にカーブミラーの清掃			○	H30～R3	
60	木屋ヶ内・大正大奈路 木屋ヶ内バス停から 中ノ島公園までの区間	大雨時に通行止めの規制がある。 道路幅が狭く見通しも悪い。生徒と車 が接触する危険がある。 スクールバスを利用する小学生もお り、対向車との行き違いが困難な所が ある。 (スポ少や部活、休日等に自転車で往 来。)	地域や保護者に注意喚起	(国道439号線)	学校	○	H30～	※大正地域振興課からも要 望あり。
			バイパスの整備の実施		四万十町事務所(県)	○	H15～	
110	大正の街中主要道路(熊野神社から 旧明神の道、須藤前から診療所前な ど)	歩道がなく、登下校時は交通量が多い 上、路肩停車の車もあり、特に雨天時、 傘をさしている学生は危険だと感じる。	(野村商店前)児童への注意喚起	(町道田野々中央線)	学校	○	R3	
			(須藤鮮魚店前)舗装の修繕、白線・グ リーンラインの引き直し		町(大正振興局)		R5	
111	小石～江師の間の橋	街灯がないため暗く、車の運転手から の自転車や歩行者の発見が遅れる可 能性がある。		(町道小石大奈路線)				
			橋上に2.3箇所の街灯設置を検討		町(大正振興局)		R4	
112	田野々地区から大正大奈路地区まで の国道	街灯が少なく、夜間の自転車での走行 が危険。	児童への注意喚起	(国道439号線)	学校	○	R3	
					四万十町事務所(県)			
134	横断歩道のライン引き直し(四万十町 全域)	横断歩道のラインが消えている箇所が 多く、ラインが見えないことで、歩行者で は横断歩道を無視した横断があったり、 運転者側では横断歩道に注意が向かない などの危険な状況が生まれている。		国道381号線				
			横断歩道の引き直し補修		警察・公安委員会		R5	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

135	浦越から国道にトンネル出口に出るまでの区間	雨天時の翌日など、落石が目立つ。夜間は鹿などの獣も突然飛び出てくる。	巡回の継続	町道浦越本線(十和)	町(十和振興局)	○	R4～	
136	大正町内のメイン通り	歩道の整備がなく、交通量が多い朝、夕に危険を感じる。歩道のカラー舗装等が可能であればお願いしたい。		町道田野々中央線				
			グリーンラインの検討		町(大正振興局)	○	R4～	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立北ノ川小学校・四万十町立北ノ川中学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考
			長期的対策内容					
61	大正北ノ川 上宮沈下橋	橋幅がせまい、欄干がない、川に落ちる危険がある。	看板の設置	(町道北ノ川上宮線)	教育委員会(町)	○	H24	※北ノ川小からの要望
			スクールバスのルート変更協議		学校	○	H25	
62	大正北ノ川～相去の間	道幅が狭い、見通しの悪いカーブが多い、ガードレールのない場所がある、がけ崩れの危険性。	防護柵の設置	(町道北ノ川相去線)	町(大正振興局)	○	H24	※北ノ川小からの要望
63	大正北ノ川 北ノ川多目的集会所 JA高知は大正支所前	窪川方面からの車にとっては、見通しが良くスピードが出やすい傾向。 横断歩道手前約50mの道路左側に「児童横断注意」の看板があるが、枝木に隠れ、字も色あせてきており、ドライバーが気付きにくくなっている。 大正方面からの車にとっては、郵便局を通過し北ノ川橋を渡った約100m先に横断歩道があるが、注意喚起の看板等もなく、見えにくい。	警戒標識、表示等の設置	(国道381号)	四万十町事務所(県)	○	H25	⇒H24、H30年度に実施。
			植栽の剪定		学校	○	H24	
			街頭指導の継続		警察・公安委員会	○	H30	
			パトロールによる監視強化					
64	大正北ノ川 北ノ川多目的集会所から山元貯木場	大型トラックの通行により危険。	警戒標識、表示等の設置	(町道北ノ川相去線)	町(大正振興局)	○	H27	北ノ川小からの要望
			下校ルートの検討		学校	○	H27	
65	大正北ノ川 玉川石油店・大和建設前の国道 上宮沈下橋から国道合流点	上宮沈下橋から国道に合流する地点は、横断歩道とカーブミラーはあるが、窪川方面から来る車は、建設会社の倉庫(工場)があるため直前まで見えない。 朝は交通量も多く、比較的スピードが出ている。 横断歩道の手前に注意喚起の看板(児童生徒横断中等)も設置されていないため、ドライバーが気づくのが遅れる傾向があり危険。(特に県外ナンバーや地元を知らないドライバー)	標示看板の設置	(国道381号)	町(教育委員会)	○	H24	
			パトロールによる監視強化		警察・公安委員会	○	H29～	
			警戒標識、表示等の設置		四万十町事務所(県) 町(大正振興局)		継続検証	
66	大正北ノ川 弘瀬トンネル西出口	カーブで見通しが悪い。	児童への交通安全指導	(国道381号)	学校	○	H24	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

67	弘瀬 弘瀬トンネル西出口～弘瀬	ガードレールのない箇所が多く、転落の危険がある。	児童への交通安全指導	(町道弘瀬家地川線)	学校	○	H24	⇒一部区間設置済 (事業中)
			ガードレールの設置		町(大正振興局)	○	H29～	
92	大正北ノ川 中学校北西部の住宅付近の三差路	道路幅員が狭く、朝夕の通学時間帯には国道381号線から材木貯木場に入りする業務用大型車両や路線バス、住宅からの通勤用の自動車などが通行するが、見通しが悪い。また、生徒は狭い路肩を通過して登校しているが、直近を車両が通過するなど、危険な状況も認められる。	支障木の伐採	(町道北ノ川弘瀬峠線 町道北ノ川相去線)	町(大正振興局)	○	R2	
			南西側カーブミラーの増設等調整		町(大正振興局)	○	R4	

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立十川小学校・四万十町立十川中学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考		
			長期的対策内容							
68	十和川口 田島石油店(203番地よりやや東)～ みよしや建材店(260番地1)の間 ※特に泉衣料十和工場(209番地)～ みよしや建材店の間	交通量が多い、大型車両が多く通行する 歩道がない、路側帯が狭い。	路側帯のカラー舗装化	(国道381号)	四万十町事務所(県)	○	H24			
			路肩(路側帯)の設置・拡幅				○		H24	
			警戒標識、表示等の設置				○		H24	
			速度規制標示(30km)補修				○		H24	
			歩道の設置・拡幅						未定	
			グリーンラインの引き直し						未定	
69	十和川口 十和温泉前(392-1)～十川小学校前	道幅が狭い。 ・道路に段差がある。劣化による亀裂や 陥没が多数あり自転車走行及び暗い中 での歩行についても危険が伴う。 ・道幅が狭く、車2台は行き違いが できない。	路肩(路側帯)の設置・拡幅	(町道十川川口線)	町(十和振興局)	○	H24			
			白線完成後に山手側通行の安全指導				学校		○	H24
			速度規制標示(30km)補修				警察・公安委員会		○	H24
			交通規制標識(自転車・歩行者専用) の設置				警察・公安委員会		○	R2
			路側帯の段差等改修				町(十和地域振興局)			R4
			路側帯のカラー舗装化・ 段差解消についての検討				町(十和振興局)			H29～ 継続検証
70	四万十町十川 土居電気店前交差点 (十和温泉へつながる橋のたもと) みよし屋前三差路	大型車等の通行が多い。 車の通行も多く、西側からの進入路に は徐行表示があるが、あまり減速せず に走行する車もある。 みよし屋前の三差路には、2か所の横 断歩道があるが、カーブで歩行者から 車が見えにくい。特に停車している車 がある時は、よけい見えづらい。 白線(止まれ)の文字が消えかかっ ていて、ドライバーの意識低下が心配。	横断歩道部のガードレールの開口	(国道381号)	四万十町事務所(県)	○	H27			
			交差点改良の検討 (区間線等の線引き直し)						継続検証	
			歩道の設置・拡幅						未定	
71	戸川 県道との分岐から約630m区間	カーブが多く見通しが悪いため、ドライ バーから児童の発見が遅れる。 道路幅員が狭く歩道もないため、児童と 車との接触の危険性がある。(H30 小・ 中学生各1名が通学)※休日等は自転 車で行き来している。	道路拡幅及び路側帯の設置	(町道戸川日吉線)	町(十和地域振興局)	○	R3～	⇒事業中		

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

84	十川 旧パチンコミリオン前の溝 星神社前の歩道	旧ミリオン前の溝 ・自転車のタイヤがはまるぐらいの溝があり、転倒の危険性がある。 星神社前、道向かいの歩道・自転車道 ・自転車道が急に部分的に狭くなっている ・直線で朝夕はスピードを出す車両が多く通り接触の可能性がある。	溝の修繕	国道381号線	四万十町事務所(県)		R1
			歩道延伸		四万十町事務所(県)		R1
93	十和川口606から667までの区間の中間あたり	山が崩れ、山肌がむき出しになっており、雨が降ると山肌から流れ出した土砂が道路上に溜まる。道路は一車線で、見通しのわるい大きなカーブになっている。 車が通行している場合は、更に危険が伴い重大な事故につながる恐れがあるので早急に対応して頂きたい。	災害復旧工事施工済	町道戸川口線	町(十和地域振興局)	○	R2
94	古城 古城地域から県道106号線で十川中学校へ向かう通学道 全般	・見通しの悪い急なカーブが多い。 ・歩道や自転車道の整備がされていない。 ・落石や枯れ木等の落木が頻繁にある。 ・道幅が狭い箇所が多い。	カーブミラーの設置	県道十和吉野線 町道戸川日吉線	四万十町事務所(県)	○	R2
			週に1度道路パトロールの実施		四万十町事務所(県)		継続
			交差点位置の変更		四万十町事務所(県)		R5
95	十川中学校から旧広井小学校への道沿い、及び十和大橋を渡って井崎方面への道路	・見通しの悪い急なカーブが多い。 ・歩道や自転車道の整備がされていない。 ・落石や枯れ木等の落木が頻繁にある。 ・道幅が狭い箇所が多い。	入口側から全面的に舗装中 破損路傍の修繕予定	町道広瀬線 町道大井川西土佐線	町(十和地域振興局)	○	R3
			(落石等)維持管理パトロールの強化		町(十和地域振興局)		R3～継続
			拡幅工事実施予定		町(十和地域振興局)	○	R3
96	十川橋 十川中学校より土居電気へ進む道の橋	年数がたち、老朽化が進んでいる。地震などの緊急時に崩壊する危険性がある。	橋梁修繕工事施行	県道十和吉野線	四万十町事務所(県)		R2

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

113	古城地域から県道106号線で十川小中学校へ向かう通学道(2)	・普段から落石や木が落ちている。 ・道幅が細くなったり、カーブや見通しの悪い場所がある。	見回り、環境整備の強化	県道十和吉野線 町道古城ヒナタゼ線	町(十和地域振興局) 四万十町事務所(県)		R3～継続
			橋梁修繕工事施行		四万十町事務所(県)		R2
			烏川橋は橋梁架替工事中であり、交差点位置が変わるため工事完了後に再度現地確認を実施		四万十町事務所(県)		R5
114	十川郵便局から十川小中学校へ向かう道路沿い	・道幅が狭く、車との接触が心配される。 ・大型車が行き交うことが多く自転車での往来は特に注意が必要。	グリーンラインの再舗装	国道381号線	四万十町事務所(県)	○	R2
			減速標示の整備を実施			○	R3
115	十川の三好屋さんの前、昭和方面からきて十川中学校方面へ曲がる三叉路	・見通しが悪く、歩行・自転車通学時に危険が伴う。 ・路肩も狭く危険がある。	児童への注意喚起	国道381号線 県道十和吉野線	学校	○	R3
			横断歩道の再舗装を予定			警察・公安委員会	○
137	古城地域から県道106号線等で十川小中学校へ向かう通学道(3)	①烏川橋付近。山側からの落石が多く見られ、以前より工事が継続しており、通行時は注意が必要。 ②古城下組集会所から脇に入る小道の周辺で山側に大きく崩れた形跡が見られる。	烏川橋の工事完了 維持管理パトロールの強化	県道十和吉野線 町道古城ヒナタゼ線	四万十町事務所(県)	○	R4
			維持管理パトロールの強化		町(十和振興局)	○	R4
138	古城地域から県道106号線等で十川小中学校へ向かう通学道(4)	道路の山側が崩れ、落石がある。落石防止のための壁が作られているがその横から小石が流れ出ている状態がある。自転車等の通行時に危険を伴う。	維持管理パトロールの強化	県道十和吉野線	四万十町事務所(県)	○	R4～
139	学校の裏側の道(職員室から見える位置)	山側の落石防止の金網がさけ、木々がぶら下がっている状態。さけた金網の下や周囲に石が落ちており通行時に危険である。水道管?を保護している材料も外れて落ちている。 金網の裂け目が広がると、様々な危険な状態が予想される。 部活動等でランニングに使用するルートでもある。	児童への注意喚起	町道十川一ノ瀬線	学校	○	R4

四万十町における通学路の対策箇所一覧〔小・中学校〕【平成24年度～令和4年度】

【四万十町立昭和小学校】

地図 番号	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	短期的対策内容	(路線名)	事業主体	対策有無	対策年度	備考	
			長期的対策内容						
72	昭和 昭和小学校前	学校前の国道は、児童が徒歩等で通学しているが、路側帯が狭く歩道もない。 道路全体の幅が狭い上に交通量が多く、通行する車のスピードも速いため非常に危険。	路側帯のカラー舗装化	(国道381号)	四万十町事務所(県)	○	H25	※見通しがよくなることで車の速度が上がり、返って危険になる見解あり。 休校施設の利活用の動向を見ながら対策を検討。 ⇒倒壊の危険のあるグラウンド側及び正門のブロック塀等を撤去・改修。	
			警戒標識、表示等の設置						○
			校舎正面付近の見通しの改善(樹木伐採等)			教育委員会(町)			継続検証
			ブロック塀等の撤去・改修			教育委員会(町)	○		R1
			グリーンラインの引き直し			四万十町事務所(県)			継続検証
			歩道の設置(学校立地区間)			○	H30～R4		
97	基幹集落センター前から郵便局前あたりのカーブ地点	・児童の通学路になっているが路側帯が極めて狭く非常に危険 ・交通量が多く通行車両のスピードも極めて速いため非常に危険 ・急なカーブになっており見通しがきかず非常に危険 ・路上駐車がありさらに見通しがきかず危険度が増す ・平成30年度にこの地点で大きな交通事故があった	児童や保護者に注意喚起	国道381号線	学校	○	R3		
			カーブに減速標示を設置						四万十町事務所(県)